

水辺愛護会通信

VOL. 5

地域の河川・水路等で活動していただいている水辺愛護会の関係者の方々が、愛護会相互の情報交換が行えるよう、平成24年度水辺愛護会見学交流会を11月7日（水）に開催しました。

当日は、29団体52名の水辺愛護会の方が参加し、カマリヤン倶楽部（金沢区・水辺愛護会）の皆さんが活動拠点としている「宮川（大川橋～待橋）」を、子ども達との学習会の取組内容や宮川の歴史などの話を聞きながら楽しく見学しました。

その後、釜利谷地区センターにて交流会を実施し、小学生などと活動をしている「釜利谷北谷水辺愛護会（金沢区）」「長倉町小川アメニティ愛護会（栄区）」の2つの水辺愛護会から、活動内容を紹介してもらいました。また、環境創造局政策課から「横浜つながりの森」構想について発表しました。

カマリヤン倶楽部（見学会）

平成15年に水辺愛護会に登録してから、川と隣接する道路の清掃、ヘドロ解消等のために有用な微生物を利用し、川の浄化を図っています。

また子ども達と一緒にイカダ作り、源流ツアー、カヌー遊びなどを通じて、子ども達に川を大切にする学習会などを行っています。

見学会の様子



宮川の概要について(久保田会長)



宮川の歴史について(久保田会長)

釜利谷北谷水辺愛護会 (交流会 (その1))

清掃除草活動の他に、ホタルが自生するための水辺の管理、整備を行っています。

今年も源氏ホタル鑑賞者が連日大勢訪れ、1,000人近くを数えるようになりました。ホタルもそれに答えるようになんとか数十匹かろうじて飛翔しているようです。

毎年、飛翔を楽しみに来る鑑賞者のためにも小川の管理を継続していきます。



釜利谷北谷水辺愛護会
発表者：吉田会長

長倉町小川アメニティ愛護会 (交流会 (その2))



長倉町小川アメニティ愛護会
発表者：依田会長

設立当初から水辺愛護会の活動を自治会と一体の町内活動に位置付けし、定例清掃は約70名前後の参加があります。

自主的活動は子ども会と連携して夏の環境学習会を9年連続開催しました。イベントへの参加を通して「顔の見える関係づくり、支え合っていく町づくり」の交流の場としています。

★重 要★

平成24年度の活動報告書は4月30日(火)までに必ず提出して下さい。

よろしくお願ひいたします！！

発行：横浜市道路局河川管理課

電話 045-671-2855

発行日：平成24年12月10日

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

Eメール do-mizubeaigo@city.yokohama.jp

第5号